

4 標準型エスカレータ

■仕様一覧

●: 標準装備仕様 ■: 有償付加仕様

部 位	名 称	仕 様	標準/有償
欄 干	ハンドレール	ウレタンゴム(標準色8色)	●
		ウレタンゴム(標準色以外)	■
		ゴム製(標準色8色)	■
	ハンドレール下部照明 ※TYPE-F	白色	●
		電球色・レッド・グリーン・ブルー	■
	ハンドレールフレーム デッキカバー	ステンレスヘアライン仕上	●
		カラーステンレスヘアライン仕上	■
	インテリアパネル	無色透明平面強化ガラス®(TYPE-S、TYPE-F)	●
		ステンレスパネル(TYPE-P)	●
	スカートガード	鋼板特殊樹脂コーティング仕上(黒色)	●
鋼板特殊樹脂コーティング仕上(グレー)		■	
ステップ	トレッド/ライザー	ステンレス(黒色)	●
		アルミ合金ダイキャスト(黒色/グレー)	■
	デマケーションライン	合成樹脂(黄色)	●
フロアプレート	コム	合成樹脂(黄色)	●
	ランディングプレート	ステンレス製(溝部グレー)	●

■基本仕様

項目	型式	S600形	S800形	S1000形
階段公称幅 (mm)		600	800	1000
勾 配 (度)		30/35		
適用階高 (m)		30° TYPE-S、F、P 1.7~9.5		
		35° TYPE-S、F、P 1.95~6.0		
速 度 (m/min)		30		
公称輸送能力 (人/h)		4500	6750	9000
電 源		220/200V・60/50Hz		

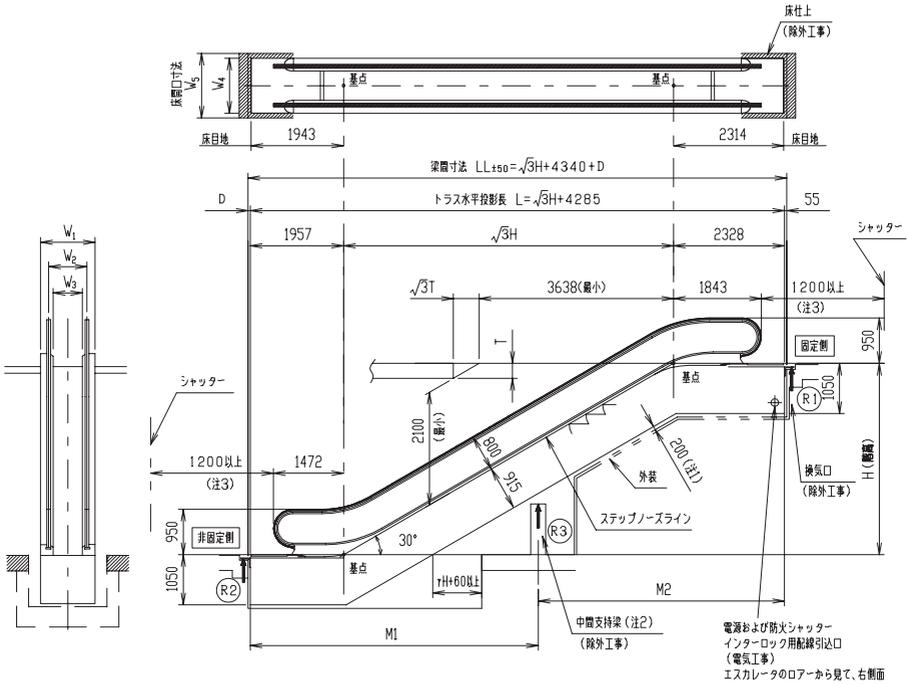
※屋外への設置、重負荷仕様の場合は、当社までご相談ください。

当社まで
ご相談
ください。

※屋外への設置の場合。
 ※重負荷仕様となる場合。
 ※エキスパンジョイントをまたいでエスカレータを設置する場合。
 ※大規模な建物の場合など、建物変位の考慮が必要な場合。

4.1 30°GS-NX(S,F,Pタイプ)

■30°GS-NX[S,F,Pタイプ]



受梁部詳細

躯体構造	非固定側		固定側
	プレート延長(τHが150mm以下の場合)	コードアングル延長(τHが150mm超えの場合)	
コンクリート			
鉄骨			

寸法表

寸法	型式	S600形	S800形	S1000形
W ₁ (仕上幅)		1150	1350	1550
W ₂ (ハンドレール中心間寸法)		838	1038	1238
W ₃ (スカートガード間寸法)		606	806	1006
W ₄ (床目地幅)		1078	1278	1478
W ₅ (床開口寸法)		1250	1450	1650

受梁部寸法表

		プレート延長 (γHが150mm以下の場合)			コードアングル延長 (γHが150mm超えの場合)		
		80以下	80超え120以下	120超え150以下	150超え200以下	200超え250以下	250超え300以下
γH [mm]		80以下	80超え120以下	120超え150以下	150超え200以下	200超え250以下	250超え300以下
D		135	175	205	255	305	355
E	コンクリート	420	500	560	660	760	860
	鉄骨	320	400	460	560	660	760

γ: エスカレータの設計用層間変形角

反力表

H, M1の単位はメートル

階高 (H)	形式	2点支持	
		R1 (アッパー支点反力)	R2 (ローア支点反力)
9.5m 以下	S600形	$\frac{9.6H^2+77.2H+117.6}{1.732H+4.285}$	$\frac{9.6H^2+61.0H+107.0}{1.732H+4.285}$
	S800形	$\frac{10.9H^2+84.1H+126.9}{1.732H+4.285}$	$\frac{10.9H^2+68.0H+116.1}{1.732H+4.285}$
	S1000形	$\frac{12.2H^2+91.3H+136.4}{1.732H+4.285}$	$\frac{12.2H^2+75.0H+125.6}{1.732H+4.285}$

(kN)

階高 (H)	形式	3点支持		
		R1 (アッパー支点反力)	R3 (中間支持支点反力)	R2 (ローア支点反力)
9.5m 以下	S600形	$\frac{9.6H^2+77.2H+11.1HM1+3.2M1^2-44.5M1+112.8}{1.732H-M1+4.285}$	$\frac{9.6H^2+56.3H+11.1HM1+3.2M1^2-32.5M1+77.7}{1.732H-M1+4.285} + \frac{3.2M1^2+4.8}{M1}$	$\frac{3.2M1^2+7.9M1-4.8}{M1}$
	S800形	$\frac{10.9H^2+84.1H-12.6HM1+3.7M1^2-48.6M1+122.3}{1.732H-M1+4.285}$	$\frac{10.9H^2+62.7H-12.6HM1+3.7M1^2-36.3M1+86.9}{1.732H-M1+4.285} + \frac{3.7M1^2+5}{M1}$	$\frac{3.7M1^2+8.2M1-5}{M1}$
	S1000形	$\frac{12.2H^2+91.3H-14.1HM1+4.1M1^2-52.6M1+131.0}{1.732H-M1+4.285}$	$\frac{12.2H^2+69.2H-14.1HM1+4.1M1^2-39.8M1+94.7}{1.732H-M1+4.285} + \frac{4.1M1^2+5.7}{M1}$	$\frac{4.1M1^2+8.5M1-5.7}{M1}$

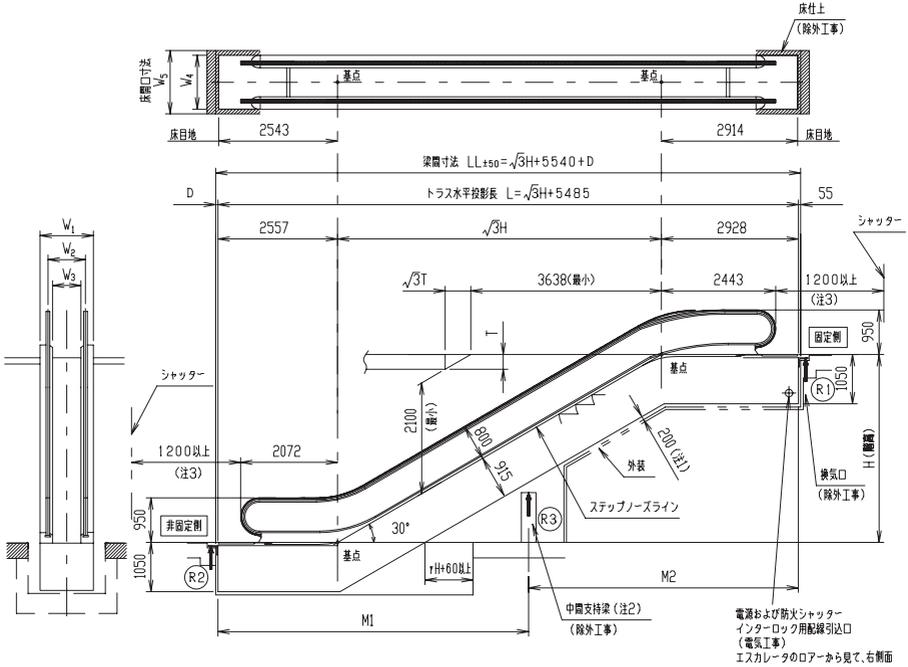
(kN)

- ※ 屋外仕様でインバータ付の場合は建屋にてインバータ設置用のスペースを要します。
- ※ 速度が30m/minを超える場合、2速度運転や反射型ビームセンサー式省エネ運転装置仕様となる場合は寸法が大きくなる場合がありますので、ご相談ください。
- ※ 外装に落下防止フェンス等が付く場合は、ご相談ください。
- ※ 中間支持要の場合は、ご相談ください。
- ※ 屋外の場合は別途確認が必要です。

- (注1) エスカレータラストと外装面の間に底部照明がない場合、200→100となります。
- (注2) L寸法が14500を超える場合は、中間支持梁が必要となります。その場合、支持梁間寸法(M1, M2)は11000以下となります。
- (注3) ハンドレール折り返し部の先端から2m以内に対面するシャッターがある場合は、エスカレータの運転をシャッターに連動して停止する構造にする必要があります。

4.2 30°福祉仕様エスカレータ GS-NX

■30°GS-NX[S,F,Pタイプ]福祉仕様(水平部3枚ステップ)



受梁部詳細

躯体構造	非固定側		固定側
	プレート延長(τHが150mm以下の場合)	コードアングル延長(τHが150mm超えの場合)	
コンクリート			
鉄骨			

寸法表

寸法	型式	S600形	S800形	S1000形
W ₁ (仕上幅)		1150	1350	1550
W ₂ (ハンドレール中心間寸法)		838	1038	1238
W ₃ (スカートガード間寸法)		606	806	1006
W ₄ (床目地幅)		1078	1278	1478
W ₅ (床開口寸法)		1250	1450	1650

受梁部寸法表

		プレート延長 (γHが150mm以下の場合)			コードアングル延長 (γHが150mm超えの場合)		
		80以下	80超え120以下	120超え150以下	150超え200以下	200超え250以下	250超え300以下
γH [mm]		80以下	80超え120以下	120超え150以下	150超え200以下	200超え250以下	250超え300以下
D		135	175	205	255	305	355
E	コンクリート	420	500	560	660	760	860
	鉄骨	320	400	460	560	660	760

γ: エスカレータの設計用層間変形角

反力表

H, M1の単位はメートル

階高 (H)	形 式	2点支持	
		R1 (アッパー支点反力)	R2 (D7-支点反力)
9.5m 以下	S600形	$\frac{9.6H^2+91.2H+176.7}{1.732H+5.485}$	$\frac{9.6H^2+75.3H+158.0}{1.732H+5.485}$
	S800形	$\frac{10.9H^2+99.9H+191.9}{1.732H+5.485}$	$\frac{10.9H^2+84.1H+172.3}{1.732H+5.485}$
	S1000形	$\frac{12.2H^2+108.9H+207.0}{1.732H+5.485}$	$\frac{12.2H^2+93.0H+187.6}{1.732H+5.485}$

(kN)

階高 (H)	形 式	3点支持		
		R1 (アッパー支点反力)	R3 (中間支持支点反力)	R2 (D7-支点反力)
9.5m 以下	S600形	$\frac{9.6H^2+91.2H+11.1HM1+3.2M1^2-52.5M1+170.0}{1.732H+M1+5.485}$	$\frac{9.6H^2+69.6H+11.1HM1+3.2M1^2-40.2M1+117.9}{1.732H+M1+5.485} + \frac{3.2M1^2+6.8}{M1}$	$\frac{3.2M1^2+8.5M1-6.8}{M1}$
	S800形	$\frac{10.6H^2+99.9H-12.6HM1+3.7M1^2-57.7M1+185.5}{1.732H+M1+5.485}$	$\frac{10.9H^2+77.9H-12.6HM1+3.7M1^2-45.1M1+132.7}{1.732H+M1+5.485} + \frac{3.7M1^2+7.1}{M1}$	$\frac{3.7M1^2+6.8M1-7.1}{M1}$
	S1000形	$\frac{12.2H^2+108.9H-14.1HM1+4.1M1^2-62.7M1+199.3}{1.732H+M1+5.485}$	$\frac{12.2H^2+86.1H-14.1HM1+4.1M1^2-49.5M1+145.3}{1.732H+M1+5.485} + \frac{4.1M1^2+8.1}{M1}$	$\frac{4.1M1^2+9.2M1-8.1}{M1}$

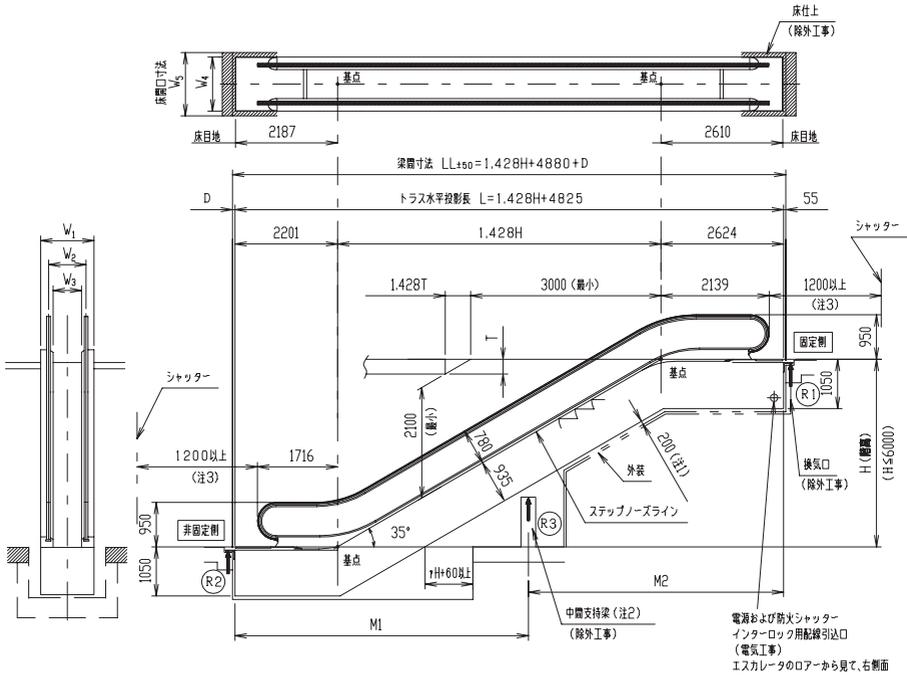
(kN)

- ※ 屋外仕様でインバータ付の場合は建屋にてインバータ設置用のスペースを要します。
- ※ 速度が30m/minを超える場合、2速度運転や反射型ビームセンサー式省エネ運転装置仕様となる場合はL寸法が大きくなる場合がありますので、ご相談ください。
- ※ 外装に落下防止フェンス等が付く場合は、ご相談ください。
- ※ 中間支持要の場合は、ご相談ください。
- ※ 屋外の場合は別途確認が必要です。

- (注1) エスカレータータラスと外装面の間に底部照明がない場合、200→100となります。
- (注2) L寸法が14500を超える場合は、中間支持梁が必要となります。その場合、支持梁間寸法(M1, M2)は11000以下となります。
- (注3) ハンドレール折り返し部の先端から2m以内に対面するシャッターがある場合は、エスカレータの運転をシャッターに連動して停止する構造にする必要があります。

4.3 35°エスカレータ GS-NX

■35°GS-NX[S,F,Pタイプ]



受梁部詳細

躯体構造	非固定側		固定側
	プレート延長(7Hが150mm以下の場合)	コードアングル延長(7Hが150mm超えの場合)	
コンクリート	<p>L250X250X25 床仕上面 70 150 (躯体寸法) サポートカバー ベアリングプレート E D</p>	<p>L250X250X25 床仕上面 70 250 (躯体寸法) サポートカバー ベアリングプレート E D</p>	<p>床仕上面 L200X200X25 70 125 (躯体寸法) 145 480 ベアリングプレート</p>
鉄骨	<p>L250X250X25 床仕上面 70 155 (躯体寸法) サポートカバー 16七調板 (除外工事) 16七補強材 (除外工事) 耐火被覆 (除外工事) E D</p>	<p>L250X250X25 床仕上面 70 255 (躯体寸法) サポートカバー 16七調板 (除外工事) 16七補強材 (除外工事) 耐火被覆 (除外工事) E D</p>	<p>床仕上面 L200X200X25 70 130 (躯体寸法) 145 55 370 耐火被覆 (除外工事) 16七調板 (除外工事) 16七補強材 (除外工事)</p>

4. 標準型エスカレータ

寸法表

寸法	型式	S600形	S800形	S1000形
W ₁ (仕上幅)		1150	1350	1550
W ₂ (ハンドレール中心間寸法)		838	1038	1238
W ₃ (スカートガード間寸法)		606	806	1006
W ₄ (床目地幅)		1078	1278	1478
W ₅ (床開口寸法)		1250	1450	1650

受梁部寸法表

		プレート延長 (γHが150mm以下の場合)			コードアングル延長 (γHが150mm超えの場合)		
		80以下	80超え120以下	120超え150以下	150超え200以下	200超え250以下	250超え300以下
γH [mm]		80以下	80超え120以下	120超え150以下	150超え200以下	200超え250以下	250超え300以下
D		135	175	205	255	305	355
E	コンクリート	420	500	560	660	760	860
	鉄骨	320	400	460	560	660	760

γ: エスカレータの設計用層間変形角

反力表

H, M1の単位はメートル

階高 (H)	形 式	2点支持	
		R1 (アッパー支点反力)	R2 (D7-支点反力)
6.0m 以下	S600形	$\frac{6.7H^2+69.2H+142.7}{1.428H+4.825}$	$\frac{6.7H^2+55.7H+126.9}{1.428H+4.825}$
	S800形	$\frac{7.6H^2+75.8H+154.5}{1.428H+4.825}$	$\frac{7.6H^2+62.1H+138.9}{1.428H+4.825}$
	S1000形	$\frac{8.5H^2+82.5H+166.5}{1.428H+4.825}$	$\frac{8.5H^2+68.5H+150.4}{1.428H+4.825}$

(kN)

階高 (H)	形 式	3点支持		
		R1 (アッパー支点反力)	R3 (中間支持支点反力)	R2 (D7-支点反力)
6.0m 以下	S600形	$\frac{6.7H^2+69.2H+9.4HM+3.3M^2+48.6M+138.9}{1.428H-M+4.825}$	$\frac{6.7H^2+52.6H-9.4HM+3.3M^2-36.9M+96.2}{1.428H-M+4.825} + \frac{3.3M^2+4.2M}{M1}$	$\frac{3.3M^2+7.4M-4.2}{M1}$
	S800形	$\frac{7.6H^2+75.8H-10.6HM+3.8M^2-53.2M+150.3}{1.428H-M+4.825}$	$\frac{7.6H^2+58.4H-10.6HM+3.8M^2-41.2M+107.1}{1.428H-M+4.825} + \frac{3.8M^2+4.6M}{M1}$	$\frac{3.8M^2+7.7M-4.6}{M1}$
	S1000形	$\frac{8.5H^2+82.5H-11.9HM+4.2M^2-57.7M+161.8}{1.428H-M+4.825}$	$\frac{8.5H^2+64.7H-11.9HM+4.2M^2-45.1M+117.6}{1.428H-M+4.825} + \frac{4.2M^2+5.3M}{M1}$	$\frac{4.2M^2+8.0M-5.3}{M1}$

(kN)

- ※ 屋外仕様でインバータ付きの場合は建家にてインバータ設置用のスペースを要します。
- ※ 速度が30m/minを超える場合、2速度運転や反射型ビームセンサー式省エネ運転装置仕様となる場合は寸法が大きくなる場合がありますので、ご相談ください。
- ※ 外装に落下防止フェンス等が付く場合は、ご相談ください。
- ※ 中間支持要の場合は、ご相談ください。
- ※ 屋外の場合は別途確認が必要です。

- (注1) エスカレータトラスと外装面の間に底部照明がない場合、200→100となります。
- (注2) L寸法が14500を超える場合は、中間支持梁が必要となります。その場合、支持梁間寸法(M1, M2)は11000以下となります。
- (注3) ハンドレール折り返し部の先端から2m以内に対面するシャッターがある場合は、エスカレータの運転をシャッターに連動して停止する構造にする必要があります。

■仕様一覧

●: 標準装備仕様 ■: 有償付加仕様

部 位	名 称	仕 様	標準/有償
欄 干	ハンドレール	ウレタンゴム(標準色8色)	●
		ウレタンゴム(標準色以外)	■
	ハンドレール下部照明 ※TYPE-F	白色	●
		電球色・レッド・グリーン・ブルー	■
	ハンドレールフレーム デッキカバー	ステンレスヘアライン仕上	●
		カラーステンレスヘアライン仕上	■
	インテリアパネル	無色透明平面強化ガラス(飛散防止フィルム付き) *TYPE-S、TYPE-F	●
		ステンレスパネル*TYPE-P	●
スカートガード	鋼板特殊樹脂コーティング仕上(黒色)	●	
	鋼板特殊樹脂コーティング仕上(グレー)	■	
ステップ	トレッド/ライザー	アルミ合金ダイキャスト(黒色)	●
		アルミ合金ダイキャスト(グレー)	■
	デマケーションライン	合成樹脂(黄色)	●
フロアプレート	コム	合成樹脂(黄色)	●
	ランディングプレート	ステンレス製(溝部グレー)	●

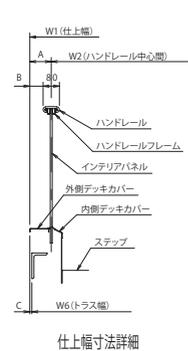
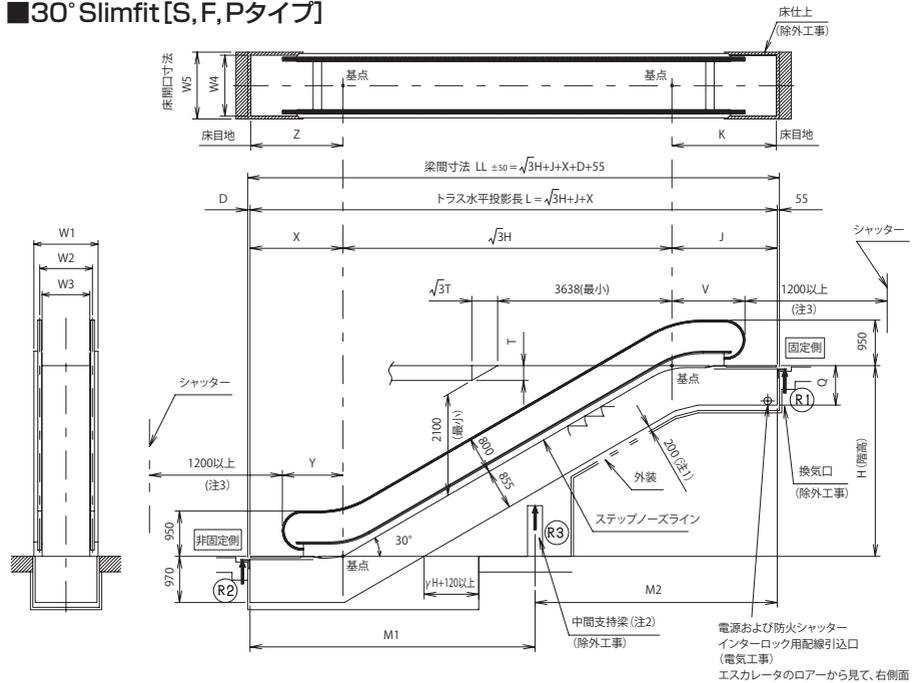
■基本仕様

項目	型式	S600形	S800形	S1000形
踏段公称幅 (mm)		600	800	1000
勾 配 (度)		30/35		
適用階高 (m)		30° TYPE-S、F、P 1.7~7.0		
		35° TYPE-S、F、P 1.95~6.0		
速 度 (m/min)		30		
公称輸送能力 (人/h)		4500	6750	9000
電 源		220/200V・60/50Hz		

※屋外への設置、重負荷仕様の場合は、当社までご相談ください。

4.4 30°エスカレータ Slimfit (省エネ・省スペースタイプ)

■30° Slimfit [S, F, Pタイプ]



躯体構造	非固定側		固定側
	プレート延長 (yHが150mm以下の場合)	コードアングル延長 (yHが150mm超えの場合)	
コクリット	<p>L250X250X25 床仕上 70 150 E D</p>	<p>L250X250X25 床仕上 70 250 E D</p>	<p>床仕上 70 L200X200X25 145 E D 55 480 ペアリングプレート</p>
鉄骨	<p>L250X250X25 床仕上 70 155 E D 16鋼材 (除外工事) 16鋼材 (除外工事)</p>	<p>L250X250X25 床仕上 70 255 E D 16鋼材 (除外工事) 16鋼材 (除外工事) 耐火保護 (除外工事)</p>	<p>床仕上 70 L200X200X25 130 E D 145 55 370 耐火保護 (除外工事) 16鋼材 (除外工事) 16鋼材 (除外工事)</p>

受梁部詳細

※ 外装に落下防止フェンス等が付く場合は、ご相談ください。

※ 中間支持梁の場合は、ご相談ください。

※ 屋外仕様でインバータ付の場合は建屋にてインバータ設置用のスペースを要します。

※ 屋外に設置する場合は、別途ご相談ください。

※ 速度が30m/minを超える場合、2速度運転や反射型ビームセンサー式省エネ運転装置仕様となる場合はL寸法が大きくなる場合がありますので、ご相談ください。

(注1) エスカレータトラスと外表面の間に底部照明がない場合、200→100となります。

(注2) L寸法が14500を超える場合は、中間支持梁が必要となります。その場合、支持梁間寸法(M1, M2)は11000以下となります。

(注3) ハンドレール折り返し部の先端から2m以内に対面するシャッターがある場合は、エスカレータの運転をシャッターに連動して停止する構造にする必要があります。

(注4) マシングが11kW以上の場合は1000となります。

寸法表

設置条件	適用	W1	A	B	C	
エスカレータ設置……単列、または並列 側面外装……なし 隣接する建築壁や柱…あり	S600形 S,F,P	920	105	65	10	
	S800形 S,F,P	1120				
	S1000形 S,F,P	1320				
エスカレータ設置……単列、または並列 側面外装……なし 隣接する建築壁や柱…あり	S600形 S,F,P	940	115	75	20	
	S800形 S,F,P	1140				
	S1000形 S,F,P	1340				
隣接する建築壁や柱…あり	S600形	S,P	950	120	80	25
		F	990	140	100	45
	S800形	S,P	1150	120	80	25
		F	1190	140	100	45
	S1000形	S,P	1350	120	80	25
		F	1390	140	100	45

隣接する建築壁や柱とは、ハンドレール中心からの距離(A)が120mm以内にあるものを示します。

型式	H(階高)	水平ステップ	J	V	K	X	Y	Z	Q
S600形	H≦7000	1.5枚(標準)	2715	1535	2701	1955	1275	1941	(注4) 970
		3枚	3315	2135	3301	2555	1875	2541	
S800形		1.5枚(標準)	2715	1535	2701	1955	1275	1941	
		3枚	3315	2135	3301	2555	1875	2541	
S1000形		1.5枚(標準)	2715	1535	2701	1955	1275	1941	
		3枚	3315	2135	3301	2555	1875	2541	

型式	W2	W3	W4	W5	W6
S600形	710	606	878	1000	900
S800形	910	806	1078	1200	1100
S1000形	1110	1006	1278	1400	1300

反力表

■2点支持の場合

H, M1の単位はメートル

H(階高)	水平ステップ	型式	R1(アッパー支反力)(kN)	R2(ローア支反力)(kN)
7.0m以下	1.5枚	S600形	$9.5H^2+80.6H+126.4$ $1.732H+4.67$	$9.5H^2+65.1H+127.3$ $1.732H+4.67$
		S800形	$10.6H^2+80.7H+116.6$ $1.732H+4.17$	$10.6H^2+65.1H+112.1$ $1.732H+4.17$
		S1000形	$11.6H^2+86.9H+125.2$ $1.732H+4.17$	$11.6H^2+70.7H+120.4$ $1.732H+4.17$
	3枚	S600形	$9.5H^2+94.5H+187.6$ $1.732H+5.87$	$9.5H^2+79.2H+181.3$ $1.732H+5.87$
		S800形	$10.6H^2+96.1H+178.8$ $1.732H+5.37$	$10.6H^2+80.8H+166.7$ $1.732H+5.37$
		S1000形	$11.6H^2+103.8H+192.6$ $1.732H+5.37$	$11.6H^2+88.0H+180.2$ $1.732H+5.37$

■3点支持の場合

H, M1の単位はメートル

H(階高)	水平ステップ	型式	R1(アッパー支反力)(kN)	R3(中間支持支反力)(kN)	R2(ローア支反力)(kN)
7.0m以下	1.5枚	S600形	$9.5H^2+80.6H-11HM1+3.2M1^2-46.5M1+121.8$ $1.732HM1+4.67$	$9.5H^2+60.1H-11HM1+3.2M1^2-34.5M1+95.5$ $1.732HM1+4.67$	$3.2M1^2+7.9M1-4.8$ M1
		S800形	$10.6H^2+80.7H-12.2HM1+3.6M1^2-46.7M1+111.6$ $1.732HM1+4.17$	$10.6H^2+59.6H-12.2HM1+3.6M1^2-34.7M1+83.4$ $1.732HM1+4.17$	$3.6M1^2+8.3M1-5.3$ M1
		S1000形	$11.6H^2+86.9H-13.4HM1+3.9M1^2-50.2M1+119.1$ $1.732HM1+4.17$	$11.6H^2+64.6H-13.4HM1+3.9M1^2-37.6M1+90.4$ $1.732HM1+4.17$	$3.9M1^2+6$ M1
	3枚	S600形	$9.5H^2+94.5H-11HM1+3.2M1^2-54.5M1+181.2$ $1.732HM1+5.87$	$9.5H^2+73.3H-11HM1+3.2M1^2-42.0M1+138.9$ $1.732HM1+5.87$	$3.2M1^2+6.8$ M1
		S800形	$10.6H^2+96.1H-12.2HM1+3.6M1^2-55.6M1+171.8$ $1.732HM1+5.37$	$10.6H^2+74.3H-12.2HM1+3.6M1^2-43.2M1+127.6$ $1.732HM1+5.37$	$3.6M1^2+8.9M1-7.4$ M1
		S1000形	$11.6H^2+103.8H-13.4HM1+3.9M1^2-60.1M1+184.0$ $1.732HM1+5.37$	$11.6H^2+80.7H-13.4HM1+3.9M1^2-46.9M1+138.6$ $1.732HM1+5.37$	$3.9M1^2+9.3M1-8.4$ M1

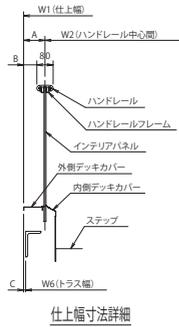
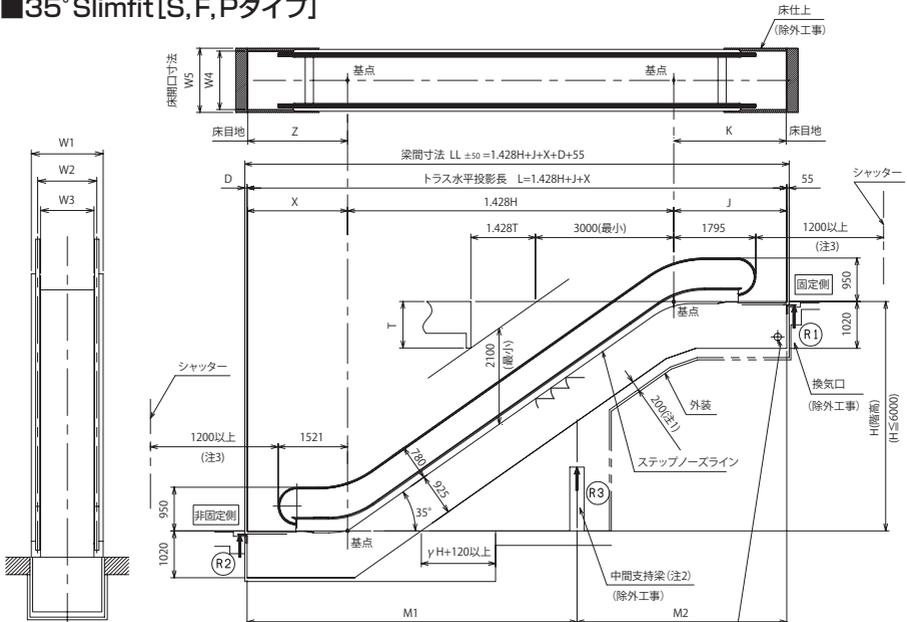
受梁部寸法表

		プレート延長(γHが150mm以下の場合)			コードアングル延長(γHが150mm超えの場合)		
		80以下	80超え120以下	120超え150以下	150超え200以下	200超え250以下	250超え300以下
E	D	135	175	205	255	305	355
	コンクリート	420	500	560	660	760	860
	鉄骨	320	400	460	560	660	760

γ: エスカレータの設計用層間変形角

4.5 35°エスカレータ Slimfit (省エネ・省スペースタイプ)

■35° Slimfit [S, F, Pタイプ]



躯体構造	非固定側		固定側
	プレート延長 (yHが150mm以下の場合)	コードアングル延長 (yHが150mm超えの場合)	
コンクリート	<p>L250X250X25 床仕上面 70 150 サポートカバー E D</p>	<p>L250X250X25 床仕上面 70 250 サポートカバー E D</p>	<p>床仕上面 L200X200X25 70 125 145 480 ヘアリングプレート</p>
鉄骨	<p>L250X250X25 床仕上面 70 150 サポートカバー E D 16鋼板 (除外工事) 耐火破覆 (除外工事)</p>	<p>L250X250X25 床仕上面 70 250 サポートカバー E D 16鋼板 (除外工事) 耐火破覆 (除外工事)</p>	<p>床仕上面 L200X200X25 70 130 145 370 16鋼板 (除外工事) 耐火破覆 (除外工事) 16補強材 (除外工事)</p>

受梁部詳細

寸法表

設置条件	適用	W1	A	B	C	
エスカレータ設置……単列、または並列 側面外装……………なし 隣接する建築壁や柱…あり	S600形 S,F,P	920	105	65	10	
	S800形 S,F,P	1120				
	S1000形 S,F,P	1320				
エスカレータ設置……単列、または並列 側面外装……………なし 隣接する建築壁や柱…あり	S600形 S,F,P	940	115	75	20	
	S800形 S,F,P	1140				
	S1000形 S,F,P	1340				
隣接する建築壁や柱…あり	S600形	S,P	950	120	80	25
		F	990	140	100	45
	S800形	S,P	1150	120	80	25
		F	1190	140	100	45
	S1000形	S,P	1350	120	80	25
		F	1390	140	100	45

型式	W2	W3	W4	W5	W6	J	K	X	Z
S600形	710	606	878	1000	900	2975	2961		
S800形	910	806	1078	1200	1100	2475	2461	2201	2187
S1000形	1110	1006	1278	1400	1300				

隣接する建築壁や柱とは、ハンドレール中心からの距離 (A) が120mm以内にあるものを示します。

反力表

■2点支持の場合

H, M1の単位はメートル

H (階高)	水平ステップ	型式	R1 (アッパー支点反力) (kN)	R2 (ローア支点反力) (kN)
6.0m以下	2枚 (標準)	S600形	$\frac{6.5H^2+70.3H+148.6}{1.428H+5.176}$	$\frac{6.5H^2+57.5H+143.1}{1.428H+5.176}$
		S800形	$\frac{7.2H^2+71.1H+139.1}{1.428H+4.676}$	$\frac{7.2H^2+58.1H+128.4}{1.428H+4.676}$
		S1000形	$\frac{8H^2+76.6H+149.3}{1.428H+4.676}$	$\frac{8H^2+63.3H+138.1}{1.428H+4.676}$

■3点支持の場合

H, M1の単位はメートル

H (階高)	水平ステップ	型式	R1 (アッパー支点反力) (kN)	R3 (中間支持支点反力) (kN)	R2 (ローア支点反力) (kN)
6.0m以下	2枚 (標準)	S600形	$\frac{6.5H^2+70.3H-9.1HM1+3.2M1^2-49.3M1+144.5}{1.428H-M1+5.176}$	$\frac{6.5H^2+54.4H-9.1HM1+3.2M1^2-38.2M1+110.3}{1.428H-M1+5.176}$, $\frac{3.2M1^2+3.9}{M1}$	$\frac{3.2M1^2+7.4M1-3.9}{M1}$
		S800形	$\frac{7.2H^2+71.7H-10.1HM1+3.6M1^2-49.8M1+134.8}{1.428H-M1+4.676}$	$\frac{7.2H^2+54.5H-10.1HM1+3.6M1^2-38.2M1+98.3}{1.428H-M1+4.676}$, $\frac{3.6M1^2+4.8}{M1}$	$\frac{3.6M1^2+7.6M1-4.8}{M1}$
		S1000形	$\frac{8H^2+76.6H-11.1HM1+3.9M1^2-53.7M1+144.2}{1.428H-M1+4.676}$	$\frac{8H^2+59.2H-11.1HM1+3.9M1^2-41.5M1+106.8}{1.428H-M1+4.676}$, $\frac{3.9M1^2+5.1}{M1}$	$\frac{3.9M1^2+8.1M1-5.1}{M1}$

受梁部寸法表

		プレート延長 (γHが150mm以下の場合)			コードアングル延長 (γHが150mm超えの場合)		
γH [mm]		80以下	80超え120以下	120超え150以下	150超え200以下	200超え250以下	250超え300以下
E	D	135	175	205	255	305	355
	コンクリート	420	500	560	660	760	860
	鉄骨	320	400	460	560	660	760

γ: エスカレータの設計用層間変形角

- ※ 外装に落下防止フェンス等が付く場合は、ご相談ください。
- ※ 中間支持要の場合は、ご相談ください。
- ※ 屋外仕様でインバータ付の場合は建屋にてインバータ設置用のスペースを要します。
- ※ 屋外に設置する場合は、別途ご相談ください。
- ※ 速度が30m/minを超える場合、2速度運転や反射型ビームセンサー式省エネ運転装置仕様となる場合はL寸法が大きくなる場合がありますので、ご相談ください。

- (注1) エスカレータトラスと外装面の間に底部照明がない場合、200→100となります。
 (注2) L寸法が14500を超える場合は、中間支持梁が必要となります。その場合、支持梁間寸法(M1, M2)は11000以下となります。
 (注3) ハンドレール折り返し部の先端から2m以内に対面するシャッターがある場合は、エスカレータの運転をシャッターに連動して停止する構造にする必要があります。